

市民の要望が届きました

皆様からの要望を埼玉県警察本部へ届け、子ども達が毎日登下校する通学路に横断歩道が設置されました。子育てをバックアップしていくためにも、皆様のご意見が貴重です。気が付いたことは何でもご相談ください。



ご意見・メッセージを
お寄せ下さい

FAX 送信欄 ▶ **048-434-6801**

✉ Eメール hosodamasanori@mist.dti.ne.jp 細田まさのり宛

活動報告



彩湖・道満グリーンパークで荒川左岸水害予防組合の水防演習が行われました。戸田・蕨・川口の3団体が荒川左岸の決壊を想定した訓練です。今年度は戸田が当番で国土交通省・埼玉県と3市の消防分団等緊密な連携を行い、水防工法訓練、水難救助訓練を行いました。また、彩湖では埼玉県より防災ヘリコプターによる水難救助訓練を行いました。



カラオケ音楽コンクール(新富福祉センター)では皆さん衣装に工夫を凝らし日頃の練習の成果を披露されていました。



子ども会主催による夕涼み祭り。遊び体験コーナーで、子ども達ももの作りを熱心に取り組んでいます。



市民体育祭では町内ごとの対抗競技などが催されました。



戸田市市制施行50周年記念式典が行われました。戸田市の発展にご尽力して頂きました先人の皆様へ厚く感謝申し上げます。



自衛隊の演習(御殿場)を見学に行ってきました。真剣に取り組んでいる隊員の姿を見て身の引き締まる思いでした。



市内530運動。皆様のご協力でもちが綺麗になりました。



埼玉県消防協会蕨戸田支部消防特別点検では、消防団員の皆様からポンプ操法、放水試験等を行い日頃の練習の成果を拝見。消防庁長官表彰等も行われました。



ホンダ工場・障害者雇用の現状と課題について大分県速見郡日出町に視察に行きました。ホンダの創始者故本田宗一郎氏が社会福祉法人「太陽の家」を設立した外科医だった故中村先生の考えに共鳴し、大分県のホンダ工場にて「健常者」と「障害者」が共同作業する場として積極的に障害者の方を受け入れ現在に至っています。障害者雇用をしているためバリアフリーなど非常に使い勝手の良い職場環境で、社員一人一人も気持ち良い対応でした。

東日本大震災の現状を視察
(平成28年7月)

東日本大震災のその後の状況を視察してまいりました。



いまだに至る所に重機があり復旧・復興作業がされていました。偶然にも当日、名取市閑上地区に小中一貫校の建設の起工式が行われていました。関係者の方からは「ここまでたどり着くまで時間がかかりましたがようやく一つの光が見えてきました。」との声がありました。



閑上地区の東日本大震災慰霊碑へ参拝しました。垂直に立つ慰霊碑先端が津波が来た高さ(約8~9m)にあたります。



女川町にはまだ流された建物があり、災害の規模を知らされます。

NEW WIND

市政報告 第8号

戸田市議会議員

細田まさのり

新 風 成長 夢 へ向かって

ご挨拶

納涼の候、皆様におかれましては益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。

7月上旬に九州北部を中心に豪雨災害が発生した。

映像を見ただけでも凄い被害だと思うが、現地では映像以上の甚大な被害であると推察する。

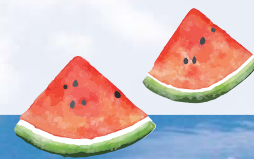
被害に遭われた方へお見舞い申し上げます。そして、一日も早く普段の生活に戻られるようお願い申し上げます。さて、国内・国外を見渡すと何となく揺れ動いていると感じているのは私だけでしょうか？

国家の不安、政治の不安、経済の不安、子育て・老後への不安と様々な不安を抱えている方が増えてきてます。このような不安の中、10代の若者が日本を元気にさせてくれた。

卓球、将棋、陸上競技等様々な分野で「ティーンエージャー・アスリート」の活躍は凄い！

元氣と勇氣、そして闘争心と改めて心に響いた出来事である。

全力パトロール！ 細田まさのり



待ちに待った 特別支援学校設置へ 一歩前進！！

私が昨年一般質問をしました、特別支援学校の設置について、市内に誘致されることが決定しました。新聞記事にありますように、戸田市新曽の県立戸田翔陽高校の敷地内に、高等特別支援学校が新設されます。

既存の県立高校に併設されるのは埼玉県初であり、県立戸田翔陽高校とグラウンドを共有し、体育祭・文化祭などのイベントを共催する「インクルーシブ教育」が推進されることとなります。2021年新設を目指し、予算が計上され、定例県議会に提出されました。

私の一般質問は、市政報告第5号に掲載しています(ホームページにて公開)。戸田市では学区を越えて片道1時間以上をかけて通学している現状を訴え、特別支援学校の新設、経験豊富な教員の配置などを要望しました。このたび大きく一歩前進することになり、引き続き配慮が行き届いた生きた設備となるよう、活動を重ねて行きたいと思います。

POINT

インクルーシブ教育って何？

inclusive education system(包容する教育制度)とは、全員参加型の社会をめざして、障害のある者となない者が共に学びあうことができる仕組みを言います。実現のためには場の整備や教職員の確保、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士ら専門家の活用も重要です。

戸田翔陽高に特別支援校
敷地内併設、交流も

【本紙記者取材】特別支援学校の設置が決定した。戸田市新曽の県立戸田翔陽高校の敷地内に、高等特別支援学校が新設される。これは、埼玉県初であり、県立戸田翔陽高校とグラウンドを共有し、体育祭・文化祭などのイベントを共催する「インクルーシブ教育」が推進されることとなる。2021年新設を目指し、予算が計上され、定例県議会に提出された。戸田市では学区を越えて片道1時間以上をかけて通学している現状を訴え、特別支援学校の新設、経験豊富な教員の配置などを要望しました。このたび大きく一歩前進することになり、引き続き配慮が行き届いた生きた設備となるよう、活動を重ねて行きたい。

一緒にしましょう！
住みつけたい街づくり



戸田生まれの
戸田育ち

細田まさのり後援会事務所

〒335-0027 埼玉県戸田市氷川町2-10-2

TEL:048-434-6800 FAX:048-434-6801

E-mail:hosodamasanori@mist.dti.ne.jp

ホームページで活動を随時報告しています。

細田まさのり

検索

討議資料